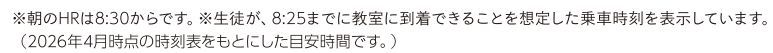
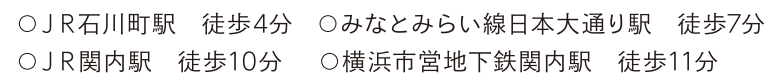


朝の HR 開始 5 分前までに到着するには、何時の電車に乗ればいい？



最寄り駅から徒歩10分以内の好立地にあるから、通いやすい。



「横浜の中心」でみつける、新しい自分」

2027年度入学者用SCHOOL GUIDE

『主体性を磨く』

どんなに時代が変わっても、
どんなに技術が発達しても、
“自分”を変えられるのは“自分”だけ。

本気で想像してほしい。

10年後、自分はどんな大人になっているのか。

目まぐるしく変化し続ける現代社会において、
「10年先なんて分からない。」って思うかもしれない。

それでもまずは考えよう。

自分が世の中のためにできることは何か。

そのために、今、何を学びたいのか。

そして行動しよう。

1つ前に進もうと本気で思って行動すれば、自分も変わる。未来も変わる。

いつの時代も、“自分”を変えられるのは“自分”だけだ。

いつの時代も、“未来”を変えてきたのは“若者たち”だ。

一人ひとりが思い描く未来を創るために。

一人ひとりの内に在る“主体性”を磨いて。

UPDATE YOURSELF. 進もう、ここから、1つ先の自分へ。

UPDATE YOURSELF
～進もう、ここから、1つ先の自分へ～

メッセージ動画は
こちらから



進もう、一つ先の自分へ

みなと総合高校は、
“叶えたい未来”から
逆算思考で夢を見つけ
本気になる場所。

みなと総合高校では、卒業生の約9割が
大学・短大・専門学校へと進学しています。
しかし、“進学”を最終目標にしていません。

「キャリア教育・探究活動・進路支援」を中枢に据え、
幅広い選択肢を提供できる総合学科の強みと
横浜の中心という立地を活かした様々な学びを通して、
生徒一人ひとりの“叶えたい未来”から
逆算思考で一緒に考え、
多様な夢の実現に向けて支援しています。

【Point 1】

キャリア教育×探究活動×進路支援

「未来型逆算思考」で
今と将来のビジョンを明確化

【Point 2】

進学型科目系列×思考力・判断力・表現力

多様な選択科目からなる「進学型系列科目」と
「思考力・判断力・表現力」の育成

【Point 3】

生徒主体×学校生活

「主体性を磨く」につながる
生徒主体の取組

「未来型逆算思考」で本気の“目標”を見つけるキャリア教育

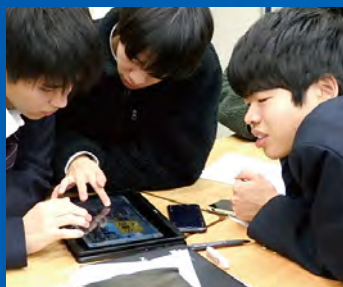
～個々の叶えたい未来や実現したい夢(目標)に向けて、キャリア・探究・進路の一体型サポート～

1年次「産業社会と人間」と2・3年次「総合的な探究の時間」の3年間を通して、生徒一人ひとりの今と将来のビジョンを明確化し、叶えたい未来や実現したい夢(目標)を定めるところから、目標達成に向けて歩み出すまでの一連の流れを、様々な機会を通して実践的に学びます。生徒が自ら10年後の未来を想像し創造できるように、キャリア教育・探究活動・進路支援が一体となってサポートしています。

1

【1年次】 産業社会と人間:他者を知る・社会を知る 地域探究と大学ゼミ体験(みなたん)

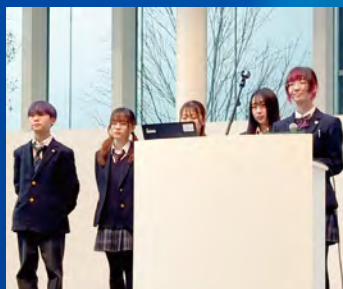
10年後、どんな未来、どんな社会なら理想なのか。まず、自分の周りに目を向けます。“横浜の中心”という立地を活かして地域が抱える課題解決に挑み、課題発見・解決力、協働力を身に付けます。また、関東学院大学のゼミ体験では大学での学びや社会課題を知ることを通し、自身の興味関心を深めます。



2

【2年次】 総合的な探究の時間:自分を知る・興味を深める 個人探究と修学旅行(みなとりっぷ)

後期にある修学旅行を探究活動のフィールドワークの機会と捉え、神奈川大学と連携して大学での探究方法を実践的に学びます。1年次に見つけた各々の“叶えたい未来や実現したい夢(目標)”から個人テーマを設定し探究する中で、目標達成への挑戦意欲や課題解決力を磨きます。



3

【3年次】 総合的な探究の時間:進路探究・自己実現 一人ひとりの夢の実現に向けて

自己実現に向けた進路探究を進めます。「未来型逆算思考」に基づく探究活動で見つけた“目標”から将来のビジョンを明確化し、どこで何を学びたいのかを具体的に考え行動に移します。多様化する大学入試でも一人ひとりに合わせた進路支援を充実させ個々の目標の実現をサポートします。



Students' voices

1年次

高校での探究活動では、自分の気になる分野の課題を選択し、調査やアンケートを行って解決策を提案します。興味があることを深く学べるので、自分の将来や進路にもつながることを期待してこれから頑張りたいです。



2年次

1年次の探究活動では企業や団体等と連携して社会課題の本質的な問題点を見つけ、改善策を考えました。2年次の探究活動では興味のあるテーマについて自分で設定して考えます。広い視野を持ち次の探究にも挑戦したいです。



3年次

2年間の探究活動を経て、私は単なる知識の習得だけではなく実社会への繋がりを意識して論理的に思考する習慣が身に付きました。修学旅行の探究活動で培った行動力が進路実現の力につながると確信しています。

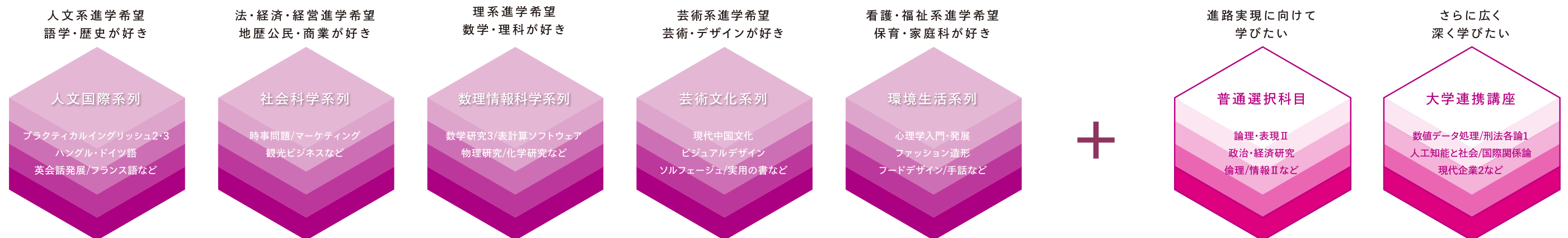


「進学型系列科目」から“学び”を選択し、 「思考力・判断力・表現力」の育成で“学び”を深める

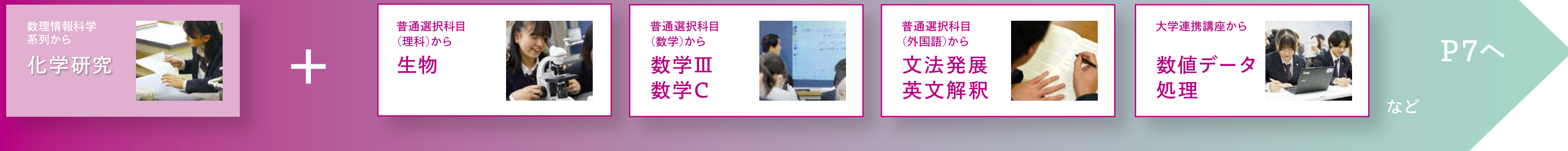
～選択機会の連続と知識活用機会の連続が、学びを深めて主体性を磨く～

みなと総合高校には学力の土台となる共通履修科目に加え、約100種類の選択科目があります。系列を超えて科目を選択することができるため、生徒は個々の将来設計に合わせて、今必要な学びを選択することができます。令和6年度から始まった大学連携講座では関東学院大学 横浜・関内キャンパスで開講している約150科目が選択可能となり、より高度で専門的な内容を大学生と共に学ぶことができます。*1また、みなと総合高校で学ぶ魅力は、選択科目の数だけではありません。各教科において、知識の習得にとどまらず「思考力・判断力・表現力」を重視した授業を展開しています。これにより、文章の意味を正確に読み取る読解力、教科固有の見方・考え方を働かせて自ら考え表現する力、そして対話・協働を通じて知識やアイデアを共有し、新たな解決策や納得解を導き出す力を育みます。 ※1:大学連携講座で取得した単位は、関東学院大学へ進学した場合、そのまま大学の単位として引き継ぐことも可能です。

興味・関心のある分野から選ぶ一系列選択科目



将来の夢は医学研究者。そのために理系大学へ進学したいなら…



将来の夢は法律家。そのために大学の法学部へ進学したいなら…



※科目系列名および科目名は2026年4月時点のものです。今後変更になる可能性があります。

NEW 多様な夢の実現を後押しする新科目が加わる



理数探究 ※令和9年度新設科目

様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方を働かせ、探究の過程を通して、数学的思考力や課題解決能力を身に付けます。



情報Ⅱ ※令和9年度新設科目

大学入学共通テスト受験対策に加え、情報技術を活用した課題解決型学習活動で情報社会の発展に主体的に寄与する資質・能力を身に付けます。



eスポーツ

eスポーツの基礎知識や周辺産業を学び、eスポーツを活用した実践的な学習活動の中で主体的かつ創造的に社会課題と向き合います。



東洋の医学

人体の構造と機能を学び、日本で発展した柔道整復術の基礎的技術を身に付けます。将来、医療系や福祉系の仕事を目指す生徒が主に選択しています。

個々の目標に合わせてつくる、自分だけの時間割



四年制大学・理系志望
将来の夢は医学研究者。原因の解明や新たな技術の発見で医療に貢献したい。
医療に興味を持ったきっかけは、祖母が闘病中に祖母や家族を心身共に支えてくれた医療従事者の方々の存在でした。病で苦しむ人を減らし日々病と闘う医療従事者の方々の助けになりたいという思いから原因解明や新たな技術の発見につながる医学研究者を目指しています。

<理系(医学)志望 3年次の時間割例>					
	月	火	水	木	金
1	体育	アクティブ イングリッシュ	英語探究	文学国語	体育
2	生物	文法発展	数学C	化学研究	数学Ⅲ
3	英文解釈	生物	数学Ⅲ	英文解釈	生物
4	数学C	文学国語	文法発展	LHR	アクティブ イングリッシュ
5	英語探究	化学研究	体育	総合的な 探究の時間	大学連携 数値データ 処理
6	数学Ⅲ	数学Ⅲ	生物	総合的な 探究の時間	大学連携 数値データ 処理

Teacher’s voice
理科 化学研究
進学もその先も見据えて知識を活用して考える
知識をいかに「活用」できるかを問う入試問題に取り組むことを基本として、実験課題も行うことで判断力や考察力を高めることを目標としています。進路への対応はもちろん、進学後も社会課題に立ち向かう姿勢を持ち続けてほしいです。

Teacher’s voice
理科 生物
これからも必要となる自律的に学び続ける力を育む
生物ではグループ活動や実験、プレゼンテーションを行っており、知識の定着だけでなく自ら疑問を持ち自律的に学び続ける力を育てています。この力は社会に出てから必要なものであり、医療、環境保護など多様な分野で活躍するための土台となります。

ご紹介している時間割例の色が付いている科目が選択科目です。

学びを深めて主体性を磨く 学校の取組は他にもあります。

フォローアップ週間の新設

令和8年度より、全ての定期テスト(中間テスト・期末テスト)を廃止し、生徒自らの学習改善や自立した学習活動を推進することを目的とした「フォローアップ週間」を新設しました。生徒一人ひとりのニーズに寄り添い、教科ごとの振り返りや躓きを解決するための補習や教科面談、また日頃の学びを深めるための時間として活用します。



ICTの活用

学校から全生徒へChromebookを貸与し、校内のWiFi環境を充実させて、日々の授業や家庭学習の中で日常的にICTを使える環境を整備しています。ICTの活用はコミュニケーションの幅を広げるだけではなく、授業内での主体的な学びや家庭学習の充実にもつながっています。



姉妹校・交流校との 海外派遣交流・留学生の受け入れ

国際交流プログラムは毎月2～3回あり、生徒たちは外国語の習熟度に関係なく、異文化交流の経験を積むことができます。交流校があるマレーシアへは希望者による海外研修を実施しており、多様な文化への理解を深める経験となります。その他にも毎年様々な国から留学生や訪問団を受け入れています。



ターム留学(オーストラリア)

オーストラリアへのターム留学では、希望者はオーストラリアに3か月間滞在し、現地の公立高校で学びます。毎年2～3名程の生徒が留学し、各々の興味関心事に合った科目を選択して、現地の高校生と共に楽しく学んでいます。



四年制大学・社会科学系志望
将来の夢は法律家。誰かのために働き社会課題の解決に貢献したい。
小学生の時に見たリーガルドラマがきっかけで法の分野に興味を持ちました。学校生活の中で様々な社会課題に目を向けるとそこには必ず理不尽に苦しむ人たちがいました。誰かのために働くことが社会課題の解決につながると気づき、今は法律家を目指して日々学んでいます。

<文系(法律)志望 3年次の時間割例>					
	月	火	水	木	金
1	アクティブ イングリッシュ	英語探究	体育	アクティブ イングリッシュ	文学国語
2	実用の書	論理国語	文学国語	時事問題	文法発展
3	政治・経済 研究	時事問題	英文解釈	実用の書	論理国語
4	論理国語	体育	論理国語	LHR	英語探究
5	体育	心理学発展	大学連携 刑法各論1	総合的な 探究の時間	心理学発展
6	英文解釈	文法発展	大学連携 刑法各論1	総合的な 探究の時間	政治・経済 研究

Teacher’s voice
地歴公民科 政治・経済研究
過去にも今にも目を向けて自ら思考を重ね学び続ける
法律の現場で働くには知識のみならず、歴史や時事問題への関心が欠かせません。1年次「公共」と2年次「政治・経済」の学習の上に、最新のニュースにも目を向けて思考を重ね、法律と人間存在を見据えます。

Teacher’s voice
国語科 論理国語
論理を理解し
実社会で生きる言葉の力を育む
論理は言葉の道筋です。この筋道がないと、真意は意外と伝わらないもの。論理国語では文章の読解や表現を通して、意見の主張や相手と誤解なくやりとりできる言葉の力を育みます。それを実社会で活かしてほしいです。

「主体性を磨く」生徒主体の学校生活

～“生徒が主役”の学校生活だからこそ、学校での全てが一人ひとりの主体性を磨く～



生徒会／委員会

Pick-up: 体育祭実行委員会

二大行事の1つである体育祭は、体育祭実行委員会を中心に生徒主体で企画から実施までを行います。毎年どの種目でも白熱する体育祭ですが、赤青黄組に分かれて競う応援パフォーマンスは圧巻です。昨年度は、団結力の強さを発揮した青組が総合優勝を飾りました。※委員会一覧は別紙『2027年度版データ集』をご覧ください。

Student's voice

最後に皆が笑って終われる体育祭にしたいという想いを込めて、活動目標は“笑Time（ショータイム）”にしました。今までの取組を引き継ぎながらも、より持続可能なカタチへと工夫を凝らした体育祭です。



国際交流

国際交流は教員主体の取組のほかに生徒主体の取組もあります。国際交流に関わる生徒を中心に、交流イベント、文化祭展示、JICA見学などのオリジナル企画や国際交流に関する校内新聞『Minato-Times』の発行に取り組んでいます。毎年留学生とも歓送迎パーティなどで関わりを深めています。

※国際交流一覧は別紙『2027年度版データ集』をご覧ください。

Student's voice

英語で国境を越えて様々な人たちと交流したいと考え、国際交流に参加しました。実際に参加してみて英語での会話の難しさを感じつつも、他国との交流活動やフィールドワークを楽しむことができます。



部活動

Pick-up: 吹奏楽部

“みんなで決めた目標を部員の力で達成する”という意識を持ち、生徒主体で部活動に取り組んでいます。演奏会や大会後のミーティングには時間をかけ、聴いていただく方の心に響く演奏をするにはどうしたらよいかを仲間と共に考え日々の練習に励んでいます。

※部活動一覧は別紙『2027年度版データ集』をご覧ください。

Student's voice

吹奏楽部では東関東大会出場を目指して、毎日の練習を重ねました。年次関係なく協力し、仲間と励まし合いながら辛い練習を乗り越えてきました。東関東大会出場校として名前が呼ばれた時の嬉しさは一生忘れません。



有志活動

Pick-up: みなとカフェ食育有志活動

みなとカフェは、一人ひとりの課題や悩みに寄り添える身近な交流の場として定期開催している交流カフェです。令和7年度より、“自分たちの居場所を、自分たちで作ろう!”と、全年次から集まった有志の生徒27人^{※2}による新しい「みなとカフェ」が始まりました。

※2: 2026年4月時点の人数です。

Student's voice

みなとカフェは、優しい雰囲気が広がる居心地の良い場所です。本格的に生徒主体の活動となった「みなとカフェ」に来てくれる方々や関係者が共に楽しめる空間づくりを大切にしていきたいです。



SCHOOL LIFE

- | | |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 4月 入学式／始業式 | 9月 文化祭／フォローアップ週間 |
| 5月 ひとりじゃないさの日／フォローアップ週間 | 11月 修学旅行／校外学習 |
| 6月 体育祭 | 12月 フォローアップ週間／冬期講習 |
| 7月 夏期講習／フォローアップ週間 | 1月 冬期講習／産人・総合発表会 |
| 8月 夏期講習 | 3月 卒業式／フォローアップ週間／スプリングフェスティバル／修了式 |



SCHOOL UNIFORM

ネクタイとリボンは、エンジとブルーの2種類があり、正装時はエンジを着用します。スカートとスラックスは選択自由です。



社会人の先輩から、受検生のあなたへ

～主体性を磨く、その先へ。卒業生たちからのメッセージ～

やりたいことが
まだない人ほど、
みなと総合に来てほしい。

PROFILE
金子桃香さん
12期卒業生
外資系人材紹介会社
シニアコンサルタント

高校での“人との出会い”が、 将来のビジョンを思い描くきっかけだった。

高校卒業後は明治学院大学に進学し、ダブルディグリープログラムでサンフランシスコ州立大学でも学び、両大学の学士を修得しました。現在は、高校・大学で培った英語力を生かして外資系の人材紹介会社で働いています。1人の裁量が大きい職場であるため、自分が頑張った分だけ企業と人をつなげて新しいシナジーを創り出すことができ、同時に、会社にも直接的に貢献していけることにやりがいを感じています。

今になって自分の原点は何かと振り返ると、やはり高校時代にあった“人との出会い”が大きかったです。中学生の時から英語が得意で、将来は好きな英語を生かして海外とつながって



いたいと漠然と考えていました。みなと総合では国際交流が盛んで、毎年多くの国から留学生の受け入れや数多くの国際交流プログラムが開催されているため、自分のやる気一つで海外とつながれることに在学時は充実感を感じていました。しかし、海外留学から帰国した同級生が自分の意見を流暢な英語で伝える姿に衝撃を受け、自分はそのままここで満足していいのかという疑問を持つようになりました。漠然と「英語」「海外」という言葉が自分の中にありましたが、それでその先どうしたいのか？までは考えていなかったのです。その後、担任の先生との面談を重ねていく中で、自分の根底に「人のためにになりたい」という想いがあることに気づきました。そして、英語を活かして海外と人をつなぐ存在となり、誰かの役に立ちたいという将来のビジョンを思い描くようになりました。

今思うと、自分は中学生の時に具体的な将来の夢は持っていませんでした。でも、みなと総合での“人との出会い”が、自分自身を内省的に見つめ直すきっかけとなり、将来のビジョンを思い描くことにつながりました。みなと総合には様々な機会が用意されています。だからこそ、やりたいことがまだ見つからない人ほど、是非来てほしい高校です。

将来自分はどうなりたいのか、どこの高校でどんな風に学びたいのかと道を選択しようとしている受検生のみなさんに向けて、みなと総合高校を卒業した4名の卒業生からメッセージをいただきました。インタビューの中では、それぞれがどんな夢を描き、どんな高校生活を送って今に至るのかを話してくれました。

みなと総合だから、
自分の可能性を
広げることができた。

PROFILE
山本揺花さん
17期卒業生
参議院事務局
広報課

人見知りで失敗を怖れる性格を克服し、 成長させてくれた場所。

参議院事務局に入局し、現在は広報課で働いています。参議院事務局は国会運営をサポートする立場であり、広報課では国民の皆様からの問合せ対応や、小中学生が国会議員として委員会や本会議を模擬体験できる特別体験プログラムの実施、参観者に配付するパンフレットの発注などを行っています。国会の中でも直接国民の皆様と接することのできる仕事にやりがいを感じながら、日々楽しく働いています。

私は中学生の時から早く社会に出て自立したいという気持ちが強かったため、高校卒業後の進路は就職の一択でした。誰かの役に立つ人間になりたい、そして学生としての勉強に区

切りをつけたいと考え、最後の挑戦として学科試験のある公務員を志望しました。みなと総合は多様な進路を応援してくれる校風であり、大学進学を目指す人もいれば、将来の夢が具体的に決まっていって専門学校を目指す人、私のような高校卒業後に就職を目指す人など様々な生徒がいます。そのため、考え方や価値観が異なる他者のことを受け入れてくれる気風があり、少数派である高卒での就職についても応援してくれる人ばかりで過ごしやすかったです。また、みなと総合は選択科目の種類が多いため、必修科目に加え、社会に出てすぐ役に立つPCスキルや簿記などの商業科目、他にも手話や中国語を学ぶことができ、興味や必要性に合わせた時間割を組むことができました。単位制の特性として、初対面の人や年次が異なる人とも移動教室で一緒になることが多いです。多様な仲間と切磋琢磨していく中で挑戦することの大切さを学び、同時にコミュニケーション能力も養われたと思います。

学校は色々なことに挑戦できる場所だと思います。失敗しても支えてくれる先生方がいらっしゃいますし、失敗から学ぶことで貴重な経験になります。私は失敗が怖くて人見知りな性格でしたが、多様な人たちとの学びを通して成長することができました。みなと総合は私を支えてくれた場所です。



大学生の先輩から、受験生のあなたへ

～主体性を磨く、その先へ。卒業生たちからのメッセージ～

良い意味で自己責任。

目標に向かって

自分独自の勉強法を貫けた。

PROFILE

荒木姫向さん

21期卒業生
東京都市大学
理工学部 応用化学科

美容師の夢から研究職という目標へ。 校内外でのW探究活動で目標に近づく。

小学生の時に原宿系のヘアメイクに興味を持ったのがきっかけで、美容師になるという夢を持ちました。高校入学当初も夢は美容師でしたが、幼少期からあった手首の腱鞘炎がひどくなり、美容師以外の道も模索していたところ「毛髪科学」の存在を知りました。そこから、科学の力で髪をきれいにして人の喜びにつなげたいと考え、研究職を目指すようになりました。現在、大学では理系基礎科目に加えて応用科学の基盤となる知識や技術を学び、同時に、学外では毛髪に関する勉強も個人的に続けています。

高校生活を振り返ると、特に「探究活動」での経験は、大学



進学後も役に立っています。みなと総合では3年間を通して地域探究・個人探究・進路探究と少しずつ難易度も深度も上げていきながら探究が進んでいきます。特に、課題発見から課題解決までの0→1の部分を生み出すこと、他者にプレゼンテーションすることに重きを置いて、思考力・判断力・表現力が鍛えられました。しかし、理系大学へ総合型選抜で進学するためには、仮説を組み立ててからのプロセスも大切です。仮説立証のための実験ができる機会と、様々な立場の方からフィードバックをもらう機会がほしいと考え、外部機関が提供している探究プログラムにも自ら挑戦しました。校内・校外で同時に探究活動を行うことは大変でしたが、今ではこの経験こそが自分の土台となっています。

みなと総合には「高校生はこうあるべき」という定型のようなものはありません。それは学ぶ環境においても同じで、校外で自発的に学ぶことに対しても肯定し応援してくれました。良い意味で自己責任なので、自ら選択し自ら挑戦することは歓迎してくれます。そんな環境だったからこそ、私自身も自分独自の勉強方法で挑戦し頑張ることができました。みなと総合は、やりたいことや将来の夢が決まってい、自分の力でもっと前に進みたい、もっと成長したいと思う人に是非来てほしい高校です。

学び方も受験の戦い方も

人それぞれ。

“人それぞれ”を

許容し認め合う学校。

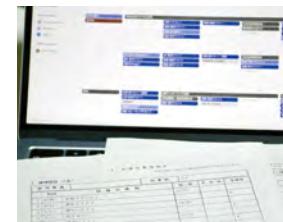
PROFILE

吉村蒼輝さん

22期卒業生
横浜市立大学
国際教養学部 国際教養学科

目の前のことをコツコツと。高校入学前から 考えていた推薦入試で志望校に合格。

じつは今までの人生の中で塾に通ったことがありません。学校での学びを着実にコツコツとやっていれば、受験のための特別な勉強は必要ないという考えです。高校選びは自分の学力に見合ったところから選びました。入学前から推薦入試を狙っていたため、高校選びの段階から指定校推薦のリストを見て、自分が進みたい進路が実現できるかどうかを高校選びの基準にしていました。今は大学受験の方法も戦い方も様々です。元々目の前のことをコツコツやっていくことが得意だった自分には指定校推薦が一番合っていると考え、高校入学後は学校生活の一日一日を大切に過ごしていました。学校生活を送る中



で一番意識していたのは「時間の管理」です。遅刻・欠席がないように日々の生活面・健康面に気を付け、授業での課題提出やプレゼンテーション、テストなどのタスクは全てGoogleカレンダーで一括管理し、自作のプリントを使って成績管理もしていました。勉強に関しては、指定校推薦に選ばなかった場合に備えて国公立文系の一般受験に対応できる時間割を担当の先生と何度も面談を重ねながら作り、学校で学んだことは自宅でも同じ教科書を使って繰り返し復習していました。そのため、テスト勉強は日々積み重ねてきたものをしっかり発揮できるように最終調整していく感覚でした。また、みなと総合には質問をすれば快く対応してくれる先生たちがいるので、自主学習の中で分からない問題がある時は、自ら質問しに行き、分からないことを放置しないように心掛けていました。

みなと総合には本当に色んな人達がいる、色んな方向を向いてそれぞれがそれぞれの方法で頑張っています。だからこそ、受験勉強のために塾に行く人が多い今の時代に、独学で勉強することを選択した自分にとっては、“人それぞれ”の学び方・受験の戦い方を許容し認め合うことができる環境が居心地良かったです。今は教師になるという将来の夢に向かって大学生活の一日一日を大切に過ごしています。